地 域 カ ル テ

山 手 小 学 校 区

H28.4.1現在

地 域 に つ い て						
人口	世帯数	小学校児童数	幼稚園園児数	高齢化率（高齢者数）		子ども率（0～14歳人口）
				65歳以上	75歳以上	
14,531人【5位】	5,940世帯【6位】	873人【3位】	223人【1位】	22.17%（3,221人）【19位】	9.06%（1,317人）【21位】	16.70%（2,427人）【3位】

校区の特性等	自治会館
● 県道大久保稲美加古川線が大久保駅まで開通したことで、急速に宅地化が進展。 ● 近年、マンションの増加に伴い、30～40代の子育て世代の人口が増加し、人口の28%を占めるに至っている。	● 丁田集会所 ● 明石大窪住宅集会所 ● 海友荘自治会集会所 ● 大窪会館 ● 神明住宅自治会安心ｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ ● 山の下公民館 ● 大窪南市住集会所 ● 大窪北市住集会所 ● 大久保ﾀﾞｲﾔﾊｲﾂ集会所 ● 県営大久保南団地集会所 ● 西脇自治会集会所 ● 緑が丘集会所 ● ﾗｲｵﾝｽﾞﾏﾝｼｮﾝ明石大久保第2自治会集会所

主な公共施設等	指定避難所
● 山手小コミセン ● 大久保北コミセン ● 高齢者ふれあいの里大久保 ● 明石市消防署大久保分署 ● 西大窪厚生館 ● 西部配水場	● 山手小学校 ● 大久保北中学校

目次（山手）

No.	課題内容	状況（H27年11月現在）	担当課
1	山手環状線（東工区）の早期着工について	△	土木交通部 道路整備課
2	赤根川上流護岸の安全対策について	○	下水道部 下水道管理課
3	山手小学校に入る交差点のところの階段について	◎	土木交通部 道路管理課
4	ひとり暮らし高齢者への訪問体制について	○	コミュニティ推進部 市民協働推進室 福祉部 福祉総務課
5	夜間における歩行者安全対策のための街路灯設置について	◎	土木交通部 道路管理課
6	山手小コミセンに隣接する畑を教育用畑として購入することについて	×	教育委員会 学校管理課
7	幼稚園での預かり保育実施について	○	こども未来部 こども育成室
8	西脇の区画整理によって山手台へ繋がる道の概要について	◎	都市整備部 区画整理課
9	高齢者のボランティア養成について	△	コミュニティ推進部 市民協働推進室 福祉部 福祉総務課 福祉部 高年介護室
10	富士通裏の道路等の安全対策について	○	土木交通部 交通安全課 教育委員会 学校教育課 教育委員会 明石商業高等学校事務局
11	山手台、緑が丘への抜け道の安全確保について	◎	都市整備部 区画整理課
12	神明住宅内狭あい道路の整備に	△	土木交通部 土木総務課

	ついて		

◎：　解決済み
○：　課題解決に向けて具体的な取り組みが進められているもの
△：　現在検討中、または大きく進んでいないもの
×：　課題解決が難しいもの

山手 NO.1	山手環状線（東工区）の早期着工について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	山手環状線（東工区）の早期着工をしてほしい。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 現在進めている西工区と中工区だけで延長が860mほどあり、事業費だけで28億円がかかります。 まずは現在の工区を進め、それが終わった段階で、次に進みたいと考えています。 ＜平成24年6月現在の対応状況＞ 山手環状線の中工区と西工区については、現在も土地所有者の方に協力をしていただき事業をすすめているところです。平成25年度末までの国の認可を得ているところですが、早期に完工させたいと思います。 ＜平成25年6月現在の対応状況＞ 山手環状線の中工区と西工区については、現在も土地所有者の方に協力をしていただき事業をすすめており、順次工事を行っているところです。平成25年度末までの国の認可については延長をしまして、早期に事業を完工させたいと思います。 ＜平成27年11月現在の対応状況＞ 山手環状線の中工区と西工区については、土地所有者の方に協力をしていただき事業をすすめており、順次工事を行っているところです。現在、工事も佳境に差し掛かりましたので、早期に事業を完工させて参ります。
担当課	土木交通部　道路整備課

山手 NO.2	赤根川上流護岸の安全対策について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	赤根川上流護岸が老朽化により亀裂が入っている。県に改修工事の要請をしてほしい。
市の対応状況等	**＜懇談会当日の回答＞** 9月12日に担当課の方で現場を拝見しました。安全という面で非常に重要な問題ですので、お金がないからといって後回しせず、県と協力しながら、きちんと取り組んでいきたいと考えています。 **＜平成24年6月現在の対応状況＞** 赤根川の河川改修については、県において、平成19年度から国道2号より上流に向け改修工事をが進められています。 改修工事区間から上流については河川改修計画はありませんが、護岸の維持補修など適切な維持管理を実施していく旨を聴いております。 改修工事区間から上流の河川改修の必要性については、下水道対策及び調整池等の計画と実施状況を調査の上、検討していきたいと考えています。 **＜平成25年6月現在の対応状況＞** 県において、平成24年度に、地元自治会の要望を受けて、護岸の修繕工事や堆積土砂の撤去、樹木の伐採等を実施しました。 今後とも適正な維持管理に努めて参ります。 **＜平成27年11月現在の対応状況＞** （担当課）　（変更前）　下水道部下水道管理課　（変更後）　土木交通部道路管理課　土木交通部土木総務課
担当課	下水道部　下水道管理課

山手 NO.3	山手小学校に入る交差点のところの階段について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	山手小学校に入る交差点のところに、6、7段の階段があるが、雨や雪の折には転倒によって怪我をする子どもが多いため、暫定策として、道路管理課の方で手すりを設置していただいた。 広く安全に通れるスロープにするなど抜本的な改善をしてほしい。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 交通安全対策に関しては、9月議会において、次年度から交通安全対策会議を設置する条例を提案しています。これまでは、ソフト面とハード面が別々でしたが、来年からは、整備を行うハードと、スクールガードを含めたソフト面を一緒に議論していこうというものです。このような会議を設けますと、国からの支援も得られやすくなるという面もあります。できれば、今回の議会で条例を通し、次年度からソフトとハードをセットでしっかりと取り組んでいきたいと思います。 ＜平成23年12月　地域への回答内容＞ 当該箇所については、平成23年4月18日付で市に要望書をお寄せいただき、その後、現地の確認を行った結果、応急対策として、すでに転落防止柵の設置、階段の滑り止め色付け及び手すりの補修等を行いました。 根本的な改善策については、予算や隣接する私有地との兼ね合いもあることから、来年度以降、測量、設計等を行い、最善の方法を検討するとともに、地元調整を行った後実施したいと考えていますので、ご理解をお願いします。 ＜平成24年6月現在の対応状況＞ 今年度、測量、設計費の予算が確保できている。概略

	設計がまとまりしだい、地元と協議させていただきます。 **＜平成25年6月現在の対応状況＞** 　現在、概略設計の成果をもって自治会及び関係者との協議を実施し、概ね同意を得ることができています。今年度は詳細設計を実施し、成果がまとまり次第、工事着手に向けて地元及び関係者と協議を行いますが、隣接する山下橋の補修工事が予定されているため、施工時期についてはその工事と調整しながら実施することとなります。
担当課	土木交通部　道路管理課

山手 NO.4	ひとり暮らし高齢者への訪問体制について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	高齢者の増加などにより民生児童委員の仕事量が増えている。個人情報の観点から、ボランティアや社協等とタイアップした地域の見守り活動を展開することも難しい状態。何か良い方策を考えてほしい。
市の対応状況等	**＜懇談会当日の回答＞** 地域でもって孤独死を防いでいくということは大きな課題だと思っています。 明石市内で誰一人として孤独死をするようなことがないまちをつくっていきたいと思います。お金のない中でもお金をつけてやっていかないといけないテーマとして、安心・安全と地域に関する支援、子どもに関しては、より充実させていかなくてはならないと考えています。市としても、民生委員や地域の頑張っている方を支えていけるよう、具体的な支援体制を検討しています。 **＜平成23年12月　地域への回答内容＞** 現在、ひとり暮らし高齢者については、希望した方を登録する手挙げ方式により台帳を作成しております。登録に当たりましては、担当地区の民生児童委員の皆さんに各世帯を訪問いただき、登録への働きかけをしていただいております。 高齢化が進むなか、各地域の民生児童委員の方々の業務量も年々増加傾向にあるため、民生児童委員の皆さんの地域での活動状況を伺いながら、今後、定数や担当区域の検討を行っていきたいと考えております。 また今後、小学校区単位のまちづくりを支える中で、地域での見守り体制についても検討していきます。 **＜平成25年6月現在の対応状況＞** 平成23年度から山手小学校地区社会福祉協議会が開

	設し、身近な地域における福祉活動を推進されています。明石市社会福祉協議会では、地域ボランティアの支援やサロンの助成などを行うとともに、地域で安否確認等気になる方を地域で見守る一助として「ふれあい訪問事業」を推進しています。実施主体は地区社会福祉協議会となっており、現在山手小学校区においても1か所で実施中です。今後も、山手小学校区内においてより推進できるよう働きかけていきます。 　なお、サロンについては、山手小学校地区社会福祉協議会が、既存のサロン交流会を行うとともに、まだ開設されていない地域のサロン立ち上げ支援に力を入れています。 　また、民生児童委員については、平成25年3月に各民生児童委員のご意見を踏まえ、山手小を含む大久保北中学校区内の民生児童委員の状況を地区民生児童委員協議会の会長・副会長と話し合い、増員する方向で現在市と県で協議しています。 　県内部での協議の結果、増員等の可否等について、8月頃各市町に通知される予定となっています。 **＜平成26年2月現在の対応状況＞** 　民生児童委員については、県との協議の結果、山手小を含む大久保北地区で3名の増員を図ることができ、平成25年12月1日から28名の委員が活動しています。今後とも地区民生児童委員協議会等の意向を踏まえながら、各委員の活動を支援してまいりたいと考えております。
担当課	コミュニティ推進部　市民協働推進室 福祉部　福祉総務課

山手 NO.5	夜間における歩行者安全対策のため街路灯設置について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	袋小路の道で暗くて危険なところがあるので、街路灯を設置してほしい。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 街路灯に関しては、1年間に1億5,700万円程の経費がかかっています。 そのうち8,500万円程が電気代で、残りが修理や新設に使っています。年に400～500件、多いときは600件程度が税金を用いて設置しているという状況です。 通り抜けが出来る道路で、出来るだけたくさんの方が通られる道路の安全に寄与する様な箇所に設置しています。 また、既に設置している箇所の修理もたくさん出てきますので、維持管理費用の安いLED灯の導入に力を入れていこうとしています。それ以外の箇所では現地を見させていただき、既に設置された街路灯の電柱への付け替え等の措置を含めて、一緒に考えていきたいと思います。 また、街路灯の設置基準を市が設けており、その中に、「行き止まりでないこと」という条件があります。改めて、現地を見ながら、色々なご意見を聞き、柔軟にできるかどうかを検討していきたいと思います。 ＜平成23年12月　地域への回答内容＞ 明石市街路灯設置基準によって、行き止まりの袋道に新設を行っていない理由としましては、特定の方が利用する場合が多いと想定されるためです。 対して、行き止まりではない通り抜けができる道路では、不特定多数の方の利用が見込まれるため、街路灯の整備が行き届いていない場合の優先度は極めて高く、できるだけ多くの市民の要望にお応えするよう努めるための基準でございます。

	なお、開発計画が当課でも把握できており、袋道が延長される場合については、将来的に設置可能箇所となるため、開発に先行して検討することは可能でございます。 **＜平成24年6月現在の対応状況＞** 地元自治会と協議した上で再度調査し、明石市街路灯設置基準に従い設置可能と判断した電柱に設置を行いました。 （平成23年度9基、平成24年度3基設置）
担当課	土木交通部　道路管理課

山手 NO.6	山手小コミセンに隣接する畑を教育用畑に購入することについて
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	小学校で食育教育の一環として、農業を取り込んだ教育を実施しているが、継続的に実施していくため、当該農地を学校用地として確保してほしい。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 現地を見させていただき、必要だと思っております。一方で財政的な問題もあり、今回の地震を受けて、校舎の全面的な耐震化や体育館の万全な耐震化を行っていきたいというのが一番の優先的な取り組みです。 他の地域でも、学童保育や児童クラブからも教室の確保等の要望を頂いている関係もあります。 子どもたちの教育環境の改善に関する事を順次やっていきたいということもあり、教育用畑に関しては少し優先度が低いので、できるなら土地を持っている方にお願いし、このまま使えるようにしたいと思っています。 ＜平成24年6月現在の対応状況＞ 前述のとおり、教育用畑に関しては少し優先度が低いので、できるなら土地を持っている方にお願いし、このまま使えるようにしたいと思っています。 ＜平成25年6月現在の対応状況＞ 昨年度同様の考え方です。
担当課	教育委員会　学校管理課

山手 NO.7	幼稚園での預かり保育実施について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	幼稚園で14時以降に1時間単位で子どもを預かってもらえる仕組みを設けてほしい。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 平成19年度から、幼稚園の時間を14時まで延長しました。延長保育は大きな課題となっています。また、ファミリーサポート制度というのがあり、1時間700円で登録し、お子さんを預かって頂けるものもあります。 国の方では、幼保一元化という話が出ています。平成25年度ぐらいからスタートさせたいと思っています。財政的な部分等、なかなか分からない部分も多いです。明石市では、これまでも幼保一元化を検討しており、国の施策が始まれば、遅れることなく取り組んでいきたいと思っています。 ＜平成25年6月現在の対応状況＞ 市とＮＰＯ法人とのパイロット協働事業として、平成23年度から実施してきた「預かり保育」については、平成24年度で終了しましたが、平成24年度の幼稚園・保育所（園）・未就園児の保護者などを対象に行った「就学前教育・保育に関するアンケート調査」の結果などを踏まえ、平成25年度からは市の事業として、保護者の子育てや短時間就労などの支援を目的に、2園（市立錦浦幼稚園・大久保南幼稚園）で「預かり保育」を試行しています。 また、昨年12月から「預かり保育」を含めて、就学前の教育や保育のあり方について、幼稚園・保育所（園）を中心に、保護者等を交えて検討しています。 「預かり保育」の今後の取り組みとしては、今までにいただいた意見などを踏まえ、段階的な導入、長期休業中の実施、市の直営などを検討していきたいと考えています。 ＜平成26年2月現在の対応状況＞

	平成25年度より市立幼稚園2園（大久保、錦浦）においてＮＰＯ法人への委託による預かり保育を試行しています。 平成26年度については、この2園に加え、新たに市立幼稚園7園（松が丘、人丸、藤江、高丘西、江井島、二見、二見北）において、市直営による預かり保育を、長期休業中も含め実施します。 尚、実施園は園の規模や施設の状況、および「就学前教育・保育に関するアンケート調査」の結果を踏まえて決定しており、今後についても「子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査」の結果や、「明石市子ども・子育て会議」の動向などを見極めながら、段階的な拡充を検討してまいります。 **＜平成27年11月現在の対応状況＞** 平成２７年度より新たに５園（明石・林・鳥羽・山手・錦が丘）で市直営による預かり保育を実施しました。現在、１４園（直営１２園・NPO法人委託２園）で長期休業中を含め１６時まで希望のあるお子様の利用が可能となっています。平成２７年度より各中学校区に１園は、預かり保育実施園となり、就労などの要件の場合、区域外申請を受けて、園区外の幼稚園への入園を可能にしています。
担当課	こども未来部　こども育成室

山手 NO.8	西脇の区画整理による山手台への抜け道の概要について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	西脇の区画整理によって山手台へ繋がる道はどうなるのか。
市の対応状況等	**＜平成23年12月　地域への回答内容＞** 現状の山手台へ繋がる道は、区画整理事業により一部付け替えられます。 工事完了後は区画整理地内を南北に通る都市計画道路西脇線と東西に通る都市計画道路江井ヶ島松陰新田線の交差点から、皿池東南角の現道へ接続します。 現在、平成25年春の道路供用開始に向け、工事中です。 **＜平成24年6月現在の対応状況＞** 平成24年秋　仮供用予定です。 **＜平成25年6月現在の対応状況＞** 平成24年12月　供用開始済みです。
担当課	都市整備部　区画整理課

山手 NO.9	高齢者のボランティア養成について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	今は元気な高齢者が多いので、ボランティアを元気な高齢者にお願いしてはどうか。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 元気な高齢者の方に、様々な場面でボランティアとして活動していただいています。高齢者の方が高齢者の方の見守りをしていただくなど、地域の中の問題は、地域の中で解決しようという方向としては、私どもも同じ方向で考えています。ご提案いただいたような養成講座に関して、内部の方で検討させていただきます。皆さんのお力をお借りしながら、地域の見守り活動を進めていきたいと思っています。 市としても、地域の自立を目指し、より進めていけるように取り組んでいきたいと思っています。 社会福祉協議会やシルバー人材センターに関しては、非常に可能性を感じています。小学校区単位で再組織化し、小学校区単位の皆さんと顔を合わせた中で、しっかりと頑張っていただけないかと考えています。 具体的には、社会福祉協議会は、これまでの中学校区単位から小学校区単位でさらに強化を図っていきたいと思っています。シルバー人材センターについても、市の単位ではなく、小学校区単位の班分けができないか、シルバー人材センターと意見交換し、進めていこうとしています。 ＜平成25年6月現在の対応状況＞ 明石市社会福祉協議会において、地域福祉活動計画策定の際の調査によると、ボランティアグループのみなさんが困っていることのトップが「メンバーの高齢化」（71.5％）である一方、やりがいを感じているグループは92.2％にのぼっています。この気持ちを大切に、ボランティアのみなさんには、高齢であってもやりがいのある活動に携わっていただきたいと思っています。

	困ったときの相談先については、88.8%の方が「同じ活動をしている仲間」と答えられており、ボランティアアドバイザーをはじめとするベテランのボランティアには、継続して活動していただきたいと考えています。 また、平成23年度から高齢者大学校「あかねが丘学園」との連携に力を入れており、卒業生が地域で活躍できるよう支援する体制を整えていきます。 シルバー人材センターでは、平成24年度に市内すべての小学校区において、地域班を設置し、地域での会員間の交流や親睦を図り、公共空間の清掃などの地域貢献を目指したボランティア活動にも取り組んでいます。 今後、会員意識の醸成と高揚を図りながら、さらなる地域貢献活動に取り組めるよう、地域班の充実に努めていきたいと考えています
担当課	コミュニティ推進部　市民協働推進室 福祉部　福祉総務課 福祉部　高年介護室

山手 NO.10	富士通裏の道路等の安全対策について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	富士通の裏からケーヨーデイツーの方へ行く東西の道について、歩道が狭いため危険である。また、自転車通学の学生も多いので交通マナーの啓発も必要ではないか。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 富士通北側の道路は若干歩道も狭く、波打っているような箇所もあって危ない所もあります。もともとその道路は、山手環状線がなかなか出来ないのを補完する代替道路という意味合いがあります。もっと狭い3ｍ位の道路が走っていたのを、富士通や当時あった企業にご協力いただき、現在の道をつけさせていただいた経緯があります。現在、山手環状線の整備を進めているので、そちらで何とかしていきたいと思っています。 中学生、高校生の自転車マナーに関して、魚住の方では、自転車マナー教室等を開催し、マナー啓発に取り組んでいる地域もあります。市では緊急雇用の事業の中で、国から補助金を得て、マナー啓発の事業をしています。 車に乗っていると腹が立ちますが、怪我をしたり、痛い目を見るのは本人たちなので、その事を分かって頂けるような啓発活動を充分にやっていきたいと思っています。 細い道の交通規制に関して、交通規制をかけるためには、周辺住民の同意を得て、公安委員会の方で規制を行うことになります。住んでいる人からすれば、通り抜けの車は困るが、自分たちが暮らしていくには車が通れる道路が必要だということで、なかなか難しいです。魚住の方では、国道2号から１本北側の旧道で、通学時間帯には地元に住んでいる方しか通行できないという交通規制を設けています。地域とも相談しながら検討していきたいと思っています。

＜平成23年12月　地域への回答内容＞

市立学校の生徒に対して、春、夏、秋、年末年始の全国交通安全運動週間及び春・夏・冬休みに合わせて、自転車マナーをはじめとした交通安全に関する指導を行っていますが、自転車安全利用に関しての正しい知識、自転車操作等の技能は獲得しているが、それらを活用して、正しい判断・思考・行動等ができていない生徒がいることが現状です。新学習指導要領に明記されているように、全教育活動を通して、活用力をつけていかなければなりません。

「頭では分かっているが、行動できない」という現状は、生活全般を通して見られますが、それを改善していくためにも、何らかの方法を構築していきたいと考えます。

＜平成24年6月現在の対応状況＞

【交通安全課】

自転車マナー向上をはじめとした交通安全に関する取組みを引き続き行っていきます。

【学校教育課】

学校における安全指導を継続しています。

【明石商業高等学校事務局】

市内高等学校とＰＴＡ連合会が協力しあいながら登下校時に立ち番をおこない、自校の生徒のみならず他校の生徒についても自転車マナーや交通安全について指導を行っています。

また、全校集会やホームルームにおいて、教師が生徒に対し、自転車マナーの向上や交通安全、危険な場所の指摘など徹底した指導を行っています。

＜平成25年6月現在の対応状況＞

【交通安全課】

引き続き自転車安全利用等、交通安全啓発・教育を行っています。

【教育委員会　学校教育課】

学校における安全指導を引き続きしています。

【明石商業高等学校事務局】

平成24年10月31日に、当校グランドでスタントマンによる事故再現で事故の危険を認知する講習会を開催しました。また、平成25年4月11日に、本田技研工業㈱の

	安全運転普及本部の方による「自転車の安全な乗り方」について講話会を行いました。夏季休業前に、自転車利用における交通安全の生徒指導講話を予定しています。 **＜平成26年2月現在の対応状況＞** 市内高等学校と協力しながら登下校時に立ち番を行い、さらに平成25年7月10日に兵庫県警察本部生活安全部少年育成課　明石少年サポートセンター所長を講師に、生徒指導講話を実施しました。 自転車による交通事故について、実際に起こった事例も交えて説明を受け、自転車のマナーを再度認識しました。 ＜事業費＞ 【交通安全課】 15,455千円（市全体） **＜平成27年11月現在の対応状況＞** 登下校時の立ち番及び自転車マナー等の生徒指導講話を継続して実施しました。
担当課	土木交通部　交通安全課 教育委員会　学校教育課 教育委員会　明石商業高等学校事務局

山手 NO.11	山手台、緑が丘への抜け道の安全確保について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	山手台や緑が丘への抜ける道があるが狭いので非常に危ない。西脇の区画整理の道を暫定的にでも舗装して通れるようにしてほしい。
市の対応状況等	＜懇談会当日の回答＞ 西脇線という都市計画道路ですが、そこから北へ上がって松陰新田線へつながる道になっています。区画整理が終わって、道路ができれば、村の中の狭い道を通らなくても西脇線から松陰新田線を通って県道の方へ出られるようになるので、ある程度解消されると思います。それまでの暫定的な利用を提案頂いたので、担当課の方にその旨伝えて検討します。 ＜平成23年12月　地域への回答内容＞ 西脇土地区画整理事業は、平成25年春の道路供用開始に向け、現在工事中です。現状の山手台、緑が丘へ繋がる道は、区画整理事業により一部付け替えられます。その工事の際に、地区内の道を迂回路として暫定的に使っていただくことになりますが、なにぶん工事中のため、ご不便をおかけすることもあると思います。 ＜平成24年6月現在の対応状況＞ 平成24年秋、仮供用予定です。 ＜平成25年6月現在の対応状況＞ 平成24年12月、西脇線供用開始済みです。 平成25年4月、江井ヶ島松陰新田線供用開始済みです。
担当課	都市整備部　区画整理課

山手 NO.12	神明住宅内狭あい道路の整備について
受　付	平成23年9月　山手校区市長懇談会
課題内容	私の住んでいる神明住宅は、狭い私道がたくさんある。今はだいぶ市の方に移譲させてもらっているが、残りも移譲していきたい。
市の対応状況等	＜平成23年12月　地域への回答内容＞ 市では寄付に際し、要件を定めており、主なものとして、①寄付物件の起終点が、市道に接続していること、②有効幅員が4メートル以上あること、③寄付物件が独立した地番を有し、公衆用道路として登記されていることなどがあります。ご質問にもあるとおり、神明住宅の地域の道路は、いわゆる出し合い道で、公図をみると、道路部分も民有地の一部であるところがほとんどであり、独立した地番を有していません。また、道路幅員も有効４メートルに満たない道路がほとんどです。上記①②③以外の要件もありますが、地域の皆さんが、道路として有効４メートル確保して土地を分筆し、起終点が市道に接するよう路線全体でご寄付いただける状況になれば、寄付受納、市道認定ができる可能性がでてくると思われます。
担当課	土木交通部　土木総務課